

「作り手」と「使い手」をつなぐ、体感型展示空間

Ritzwell 初のフラッグシップストアが 表参道にオープン **NEW!**



創業 30 周年を迎える 2022 年

初の路面店『Ritzwell 表参道 ショップ&アトリエ』がオープン

まちに新たな可能性を切り開く「ののあおやま」に、Ritzwell は初の路面店となる
ショップとアトリエが併設されたフラッグシップストアをオープンします。

2022 年に創業 30 周年を迎える Ritzwell は、これまでアポイント制を基本とするショールームを運営して参りましたが、この度全く新しい
コンセプトストアを港区北青山にある「ののあおやま」1F にオープンします。

職人が家具を製作するスペースを設けた体感型の展示空間を展開する『Ritzwell 表参道 ショップ&アトリエ』。

そこは、心地よさや美しさを追求する職人の手しごとによって作られる家具、

温もりや作り手の気遣いが感じられる家具と共に過ごす 豊かな人生との出会いの場です。

「心地よい空間」「豊かなデザイン」「真摯な家具づくり」をテーマに、開発、製造、販売と一貫通貫の Ritzwell だからこそ伝えられる
独特の世界観とモノ作りの魅力をお届けします。



Ritzwell 表参道 ショップ&アトリエ

《グランドオープン》

2022 年 1 月 20 日 (木) 11:00

※プレオープン (取材・取引先ご予約のみ対応)

2021 年 12 月 24 日~27 日、2022 年 1 月 5 日~19 日

東京都港区北青山 3-4-3 ののあおやま 1 階

職人の感性と息遣いを感じる空間

「作り手」と「使い手」との出会いの場

当然のように日常に存在する家具が実際はどのように作られているのか、それを知る機会はそう多くありません。

家具そのものが持つメッセージは長い年月をかけて、愛着と共に人々の暮らしの中に現れてくるもの。

そして、その背景にはそれらの家具を作る職人たちの存在があります。

技術が発達し効率化が進む現代において、職人である「作り手」と、家具を購入する「使い手」との間には大きな隔たりが存在します。

表参道ショップ&アトリエは、その「作り手」と「使い手」とをつなぎ、私たちの暮らしにある最も身近な道具である「家具」が持つ新たな可能性への気づきの場となり、その後の人生をも変えていくような出会いの場となることを目指します。



1992年、福岡県に社員2名でスタートした Ritzwell。

世界最大規模の家具見本市「ミラノサローネ」、世界のデザイン賞への挑戦を経て気づいたもの。
クラフツマンシップを育み、誰からも信頼される家具を作り続ける大切さ。

Ritzwell は、福岡空港からほど近い、福岡市博多区に社員2名でスタートしました。

創業当時から世界を見据え、2008年から世界規模の家具見本市・ミラノサローネへ参加、2013年にはデザインホールへ単独出展を果たし、2017年から世界的なデザインアワードへの挑戦が始まります。福岡にあり社員数50名の中小企業である Ritzwell が、無謀とも思えるこの挑戦によって常に世界へ問いかけてきたものは「良い家具とは何か」、そして「Ritzwellらしさとは何か」ということです。Ritzwell は、ヨーロッパで生まれた「家具」というものを、国の持つイメージやその時々トレンドにとられることなく、独自のスタイルでデザインしてきました。それらの家具が日本にとどまらず、世界の人々に受け入れられてきた理由としては、「丁寧さ」「緻密さ」「真摯なモノ作りの姿勢」という、いわば日本人らしさを内包するモノ作りの過程にあると私たちは考えました。

商品を作る職人たちの経験や感性を研ぎ澄まし育てる環境こそが、「Ritzwellらしさ」を形作り、そしてその妥協しない真摯なモノづくりの姿勢が、技術を超える付加価値を生むという思いから、2019年、自然豊かな福岡県糸島市に、職人たちの働く環境を第一に考えた自社工場「糸島シーサイドファクトリー」を設立。

そして2022年、30周年を迎える Ritzwell は、次のステップとして糸島シーサイドファクトリーの思想を受け継ぐ拠点『Ritzwell 表参道ショップ&アトリエ』を表参道（北青山）にオープンすることを決定しました。



「糸島シーサイドファクトリー」外観（福岡県糸島市二丈吉井）

大量生産では表現できない、 現代における「椅子張り」の魅力。

これまでのインテリアショップにはない、職人の仕事をライブで伝えるということ、
職人とコミュニケーションを取れるという新しい試みにより、
手しごとから生まれる家具の魅力を知って頂きたい。

職人たちが行う作業は、大きく分けて下張り・クッション材張り・上張りという工程から成る「椅子張り」です。

ソファや椅子の仕上げ方法として多くを占める「カバーリング」とは異なり、職人によって張地を張り込んでいく「椅子張り」は、その職人の経験や感性、技術力が座り心地や見た目の美しさに影響するため、等しく均一な仕上がりで大量に作っていくことはできません。そのため、誰でも一定のクオリティで製作できるカバーリング、且つ、国外へもどんどん輸出できるノックダウン式（組み立て式）であることは、現代の家具デザインでは重要視されているポイントです。

しかし、リッツウェルでは取えてこの手間のかかる「椅子張り」にこだわります。

一度に製作できる台数も限られますし、職人も育てなければいけません。

この拘りは、機械では表現できないディテールへの美しさの追求によるものです。そして、ライン生産による分業ではなく一人の職人が下張りから仕上げまでを担当する事で、見えない部分まで作り手の拘りや気遣いが感じられる家具を作りたいという思いからです。

人の手によって生まれる感覚的な曲線、その曲線は家具に奥行きを与え、そこから生まれる自然発生的な陰影が上質な素材と相俟って私たちの五感をたのませてくれます。家具には「道具」として以上に、そうした私たちの心の豊かさを育む力、可能性があると感じると私たちは考えます。表参道ショップ&アトリエでは、家具の展示とともに、家具が作られていく過程や職人たちの仕事を間近で見ていただくことで、家具の新たな魅力に触れ、人とモノ、人と人との接点が希薄となりがちな現代において、手間暇を惜まない営みの豊かさを感じていただきたいと思えます。

Ritzwell 表参道 ショップ&アトリエ 概要

住所：107-0061 東京都港区北青山 3-4-3 ののあおやま 1階

東京メトロ千代田・銀座・半蔵門線「表参道」駅 A3 出口から徒歩 5分

東京メトロ銀座線「外苑前」駅 3 出口から徒歩 7分

電話：03-3423-2929 (2021年12月24日以降)

営業時間：11:00～19:00 水曜日・年末年始定休



OMOTESANDO SHOP & ATELIER



「ののあおやま」について

「ののあおやま民活棟」は、北青山三丁目地区まちづくりプロジェクトにおいて民間活用事業として位置付けられた事業です。賃貸マンション、商業施設、保育所、地域交流施設等で構成した、25階建ての複合施設となります。

- ①青山本来の豊かな自然を再生する約3,500㎡の潤いある大規模緑地を創出
- ②「森の商店街」をコンセプトとした商業ゾーンを形成
- ③国籍や世代の異なる多様なライフスタイルに対応する上質な229戸の賃貸住宅「クラス青山」
- ④ハイグレードなサービス付き高齢者向け住宅「ツクイ・ののあおやま」や待機児童解消に寄与する認可保育所の設置

【本リリースに関するお問合せ先】

■株式会社リッツウェル 東京支店

〒107-0062 東京都港区南青山 2-13-7 マトリビル 3F

TEL：03-5772-3460 FAX：03-5772-3461

※取材のお申込み、商品画像の使用についてもこちらにお問合せください

担当窓口

Ritzwell 若山 良子 mail:wakayama@ritzwell.com

LYDIA 水谷 誠 mail:mail@lydiapr.com



www.ritzwell.com